

第5学年道徳科学習指導案

令和5年6月23日（金）5校時
1組26人 指導者 教諭 辻 拓也

- 1 主題名 あいさつの心 B-(9) 礼儀
教材名 「あいさつ運動」 【小学道徳 生きる力5】（日本文教出版）

2 主題について

(1) 価値及び指導について

本主題は、学習指導要領道徳科の内容項目B-(9)「時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。」に関するものである。これは、中学年の「礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。」を受け、さらに中学校の「礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。」に発展するものである。

礼儀は、相手の人格を尊重し、相手に対して敬愛する気持ちを具体的に示すことであり、心と形が一体となって表れてこそ、そのよさが認められる。つまり、礼儀とは、心が礼の形になって表れることであり、礼儀正しい行為をすることによって、自分も相手も気持ちよく過ごせるようになる。また、礼儀は、人間関係を豊かにして社会生活を円滑に営めるようにするために創り出された文化の一つであるということができる。よい人間関係を築くためには、まず、相手に対して真心がこもった気持ちのよい応対ができなければならない。そのような応対は人としての生き方の基本であり、まずは大人が作法として教えることから始まる。それらを、さらに、例えば真心のこもった態度や時と場をわきまえた態度など礼節をわきまえた行為へと深めていくことが必要である。

この期の児童は、特に礼儀作法についてそのよさや意義を正しく理解し、時と場に応じて、例えば、自ら挨拶をしてからお辞儀をするなど、適切な言動ができるようにすることが求められる。この段階は、礼儀のよさや意義について知識としては理解できていても、恥ずかしさなどもあり、時として心のこもった挨拶や言葉遣いが行為として表れない場面も出てくることが考えられる。そこで、相手の立場や気持ちを考えて心のこもった接し方をしようとする態度を養うことが大切である。

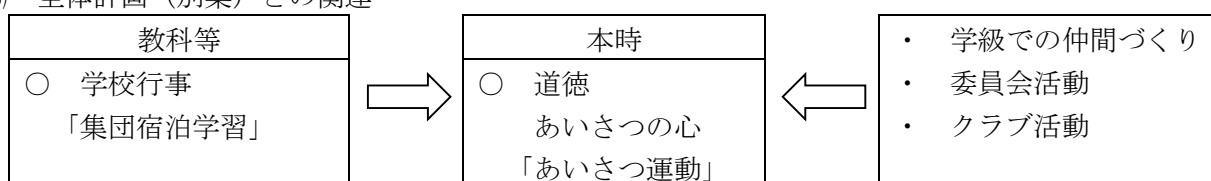
指導に当たっては、行動範囲の広がりとともに様々な人との関わりも増えてくることから、挨拶などの礼儀は社会生活を営む上で欠くことができないものであることを押さえ、礼儀作法の形にこめられた相手を尊重する気持ちを児童自身の体験を通して考えさせることが大切である。

(2) 教材について

本教材は、挨拶を積極的にする転校生の道夫をだんだんとうとましく感じる級友が彼を遠ざけ、主人公の「ぼく」も関わりをもとうとしなくなる。見かねた担任が道夫の思いや担任の思いを述べることを通して挨拶が全校的に活発に行われるようになったという内容である。

高学年の児童は、挨拶のよさや意義について理解はできていても、「挨拶なんかしなくても関係はもてる」という錯覚を起こしたり、気恥ずかしさから進んで挨拶をすることを忌避したりする傾向がある。道夫の挨拶行動によって、みんなが挨拶をするようになったこと、道夫を「目立ちたがり屋だ」といって遠ざけ挨拶が交わされなくなったこと、道夫や先生の思いや聞いている「ぼく」の心情を考えることなどを通して、恥ずかしさを乗り越え進んで心のこもった挨拶をしようとする態度を養っていきたい。

(3) 全体計画（別葉）との関連



3 児童の実態・考察

(1) 道徳的価値との関連について(アンケート実施日：令和5年5月12日(金)調査人数26人)

① 「あいさつ」は大切だと思いますか。(人数)	
・ 大切 (26)	・ 大切ではない (0)
② ①で「大切」と答えた人は、その理由(あいさつのよさ)を書きましょう。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分が気持ちが良い。 ・ 相手、周りも気持ちが良い。 ・ 礼儀。 ・ 常識。 ・ 習慣がつく。 ・ 人を元気にさせる。 ・ コミュニケーションをとることができる。 ・ いろいろな人と仲良くなれる。 ・ ないと無視をしているよう。 ・ しないといやな空気。 	
③ 進んであいさつができていますか。	
・ よくできている (8)	・ あまりできていない (3)
・ まあまあできている (15)	・ できていない (0)
④ ③で「あまりできていない」「できていない」と答えた人は、なぜできないときがあるのか理由を書きましょう。	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 恥ずかしい。 ・ 無視されたら悲しい気持ちになる。 ・ 勇気が出ない。 ・ 元気がないときがある。 	
⑤ 友達にあいさつをしたらあいさつを返してくれますか。	
・ 必ず返してくれる (14)	・ あまり返してくれない (1)
・ ときどき返してくれる (11)	・ 返してくれない (0)
⑥ あいさつをしていない友達を見たことがありますか。	
・ ない (1)	・ よく見る (2)
・ ときどきある (23)	

①の結果から、本学級の全児童が、挨拶は大切だと考えている。理由としては、自他共に気持ちよくなる、礼儀・常識、コミュニケーションをとることができるなどが挙げられ、挨拶のよさを理解している児童が多いことが分かる。次に、③より、9割近くの児童が進んで挨拶ができていと回答している。できないときがあると回答した理由としては、挨拶をすることの恥ずかしさや挨拶が返ってこないことへの不安、勇気のなさが挙げられる。また、⑤、⑥より、5割ほどの児童が友達が必ず挨拶を返してくれると回答している。友達同士の挨拶だと返事が返ってくることが多いことが分かる。一方で、ときどき返してくれると回答した児童が4割ほどいたり、挨拶をしていない友達をときどき見たことがあると回答した児童が、8割以上いたりすることから、挨拶ができない場面もあることが分かる。アンケート結果より、児童の多くが、進んで挨拶ができていて、友達も挨拶を返してくれていると回答しているが、日頃の学級での様子を見ると、進んで挨拶をしたり、挨拶を返したりしていない場面も多く見られる。

これらのことから、挨拶のよさは理解しているが、実際に行動に移せてないことに気付いていないのではないかと考えられる。また、挨拶をすることの難しさについても深く考えたことがないのではないかと思われる。そこで、学級の挨拶の現状について知り、挨拶をすることの難しさについて考えさせるようにしていく。その中で、挨拶をすることの意義について、考えを深めさせていきたい。

(2) 本校の研究主題との関連について(アンケート実施日：令和5年5月12日(金)調査人数26人)

① 道徳の学習では、どんな活動が好きですか。【複数選択】			
ア 登場人物の気持ちを考える (6)	オ 自分のことを振り返る (3)	イ 自分の考えを発表する (6)	カ タブレットを使う (16)
ウ 友達の考えを聞く (13)	キ ない (0)	エ グループでお互いの考えを伝え合う (7)	ク その他 (1)

② ①で選んだ理由を書きましょう。	
<p>ア 登場人物の気持ちを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちを考えることが楽しい。 登場人物の気持ちを交流することが好き。 考えると想像力を鍛えられる。 <p>イ 自分の考えを発表する</p> <ul style="list-style-type: none"> 人に話をするのが好き。 評価が上がると思う。 <p>ウ 友達の考えを聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> 聞くと新たな考えが生まれる。 いろいろな意見や考えが聞ける。 納得しながらノートに友達の考えを書くことが好き。 自分の気持ちを伝えたり、発表したりすることが苦手。 	<p>エ グループでお互いの考えを伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで活動することが楽しい。 <p>オ 自分のことを振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> 振り返って考えることが意外と楽しい。 <p>カ タブレットを使う</p> <ul style="list-style-type: none"> 文字を打つことが好き、楽しい。 いろいろな考えを知ることができる。 楽。 話さなくてもよい。 <p>キ ない</p> <p>ク その他</p>
③ 友達の考えを聞いたり、自分の考えと比べたりすることは好きですか。	
<ul style="list-style-type: none"> 好き (21) <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 友達がどのような考えなのか聞きたい。 新しい考え、違う考えを聞くことができる。 友達の考えを聞くことは楽しい。 参考になる。 	<ul style="list-style-type: none"> 嫌い (5) <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の考えに意見を言われそう。 比べることで迷ってしまう。 聞くことは好きだが比べることは嫌い。
④ 伝え合う学習活動で好きな活動は何ですか。(自分の考えが伝えやすい活動は何ですか。) 【複数選択】	
<p>ア タブレットを使って考えを共有する (16)</p> <p>イ ペアで伝え合う (4)</p> <p>ウ グループで伝え合う (7)</p>	<p>エ 全体で発表し合う (4)</p> <p>オ ない (2)</p> <p>カ その他 (2)</p>
⑤ ④で選んだ理由を書きましょう。	
<p>ア タブレットを使って考えを共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> いろいろな人の意見を知ることができる。 みんなの前で発表することが苦手。 考えが残り、いつでも見ることができる。 <p>イ ペアで伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> たくさんの人と話をすることが苦手。 	<p>ウ グループで伝え合う</p> <ul style="list-style-type: none"> グループの友達の意見を知ることができる。 恥ずかしがらずに発表できる。 <p>エ 全体で発表し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> 話し合って意見がたくさん出るほど参考になる。 <p>オ ない</p> <ul style="list-style-type: none"> 発表をしたくない。 自分の意見を見せたくない。

①, ②の結果から、タブレットを使う活動が好きな児童が最も多いことが分かる。理由としては、タブレットを活用することで、いろいろな考えを知ることができる、文字入力を楽しめるなどが挙げられる。次に、友達の考えを聞くことが好きな児童が多いことが分かる。理由としては、友達の考えを聞くことで、いろいろな考えを知ることができる、新たな考えが生まれるなどを挙げている。一方で、自分の考えを発表する活動を選んだ児童は少なかった。③からも、友達の考えを聞いたり自分の考えと比べたりすることが好きな児童が多いことが分かる。④, ⑤の結果は、①, ②の結果と重なるところが多い。

これらのことから、本学級の実態として、全体で発表する活動を増やすよりも、タブレットを活用したり、ペアやグループなどの少人数で意見を伝え合わせたりする方が適しているのではないかと考えられる。また、理由を見ると、全体の前で発表することへの不安や苦手意識をもっている児童がいることも分かる。そこで、タブレットを活用して考えを整理させたり、ペアやグループでの対話の機会を設定したりすることで、自信をもって自分の考えを深めることができるようにしていきたい。

4 本時

(1) ねらい

- 挨拶のよさが分かっているにも関わらず、それを継続することの難しさを知り、挨拶がもつ本来の意味について考えを深め、進んで心のこもった挨拶をしようとする態度を養う。

【道徳科のねらい】

- 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができるようにする。

【研究主題のねらい】

(2) 本時の展開に当たって

ア 導入

実態調査の結果を大型テレビに提示し、視覚的に学級の実態を捉えられるようにする。挨拶のよさは分かっているが、できないこともあることに気付かせることで、問題意識をもたせる。


イ 展開

挨拶のよさの気付いたにも関わらず、進んで挨拶ができなくなってしまうぼくや学級のみんなの気持ちを考えさせることで、挨拶したいという気持ちがあっても声に出さなければ、挨拶のよさが広がらないことに気付かせていく。その際、「ぼくやみんなは挨拶のよさを忘れてしまったのか」と問うことで、児童の考えを揺さぶるようにする。具体的には、ロイロノートのテキストに自分の立場と理由を示し、グループや全体で話し合わせるようにする。

ウ 終末

脇本タイムでは、本時の学習を通して学んだことや感じたことを振り返り、これからどのようにしていきたいか考えさせる。その際、道徳ノートに書いたものを撮影し、ロイロノートで共有させることで、書くことが苦手な子が参考にできるようにする。また、教師の説話で、挨拶のもつ力についての体験談を話すことで、これからの生活に生かしていこうとする実践への意欲を高めるようにする。

(3) 実際

過程	主な学習活動	時間	指導上の留意点 ※対話活動の充実を図る場面 ◇ICT活用 ☆評価
導入	1 これまでの経験を想起する。 2 本時のめあてをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 進んであいさつをするためには、 どのような考えが大切だろうか。 </div>	5	○ 実態調査を基に、挨拶のよさを確認したり、進んで挨拶することの難しさに気付かせたりしながら、めあてを設定する。 <p style="text-align: right;">【◇自分の考えをもつ】</p>
展開	3 教材「あいさつ運動」を読み、話し合う。 (1) 道夫の挨拶によって、ぼくが「どのような挨拶のよさ」に気付いたか考える。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気持ちがすうっとする。 ・ あまり親しくない友達と仲良くなれる。 ・ 教室が明るくなる。  </div>	5	○ 内容を理解しやすくするために、事前に教科書を読ませておき、概要のみを確認する。 ○ ぼくが感じた挨拶のよさを発表させ、児童が感じる挨拶のよさと共通する部分がないか考えさせる。 ○ ぼくが挨拶のよさに気付いたことが分かるように、道夫と出会う前と出会った後の違いが分かるような板書にする。

展開	<p>(2) 中心発問について考え、話し合う。</p> <p>◎ よさが分かっているのに、あいさつをしないのはどうしてだろうか。</p> <p>・ 挨拶したら自分も仲間外れにされると思ったのでは。 ・ 周りの目が気になって恥ずかしくてできないのでは。 ・ 自分も同じようにうわさをされるのでは。</p> <p>○ 心の中ではした方がよいと思っているから、言わなくてもよいのだろうか。</p> <p>・ 心で思っても言わないと伝わらないから言うべき。</p> <p>(3) なぜ、ぼくは、先生の話聞いてもう一度挨拶をしようと思ったのか考える。</p> <p>・ 挨拶をしないと学級が暗くなってしまう。 ・ 挨拶を続ける道夫さんがかわいそう。 ・ 心で思うだけでなく声を出さなければ伝わらない。</p> <p>4 進んであいさつをするためには、どのような考えが大切か話し合う。</p> <p>・ あいさつのよさに気づく ・ できない気持ちにまけない ・ 心で思うだけでなく声に出さなければ伝わらない ・ 最初は勇気が必要 ・ 相手の気持ちを考える</p>	<p>17</p> <p>○ 挨拶のよさを忘れたかどうか問うことで、よさが分かっているにも挨拶ができないことがあることに気付かせる。</p> <p>○ ロイロノートで青色のテキストに理由を入力させる。</p> <p>【◇自分の考えをもつ】</p> <p>※ グループで自分の考えを伝え合う時間をとる。話し合い後、最終的な自分の考えを青色のテキストに入力し、提出させる。</p> <p>【◇自分の考えをもつ 他者の考えを知る】</p> <p>☆ 友達の考えも参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。</p> <p>【端末・発言】</p> <p>※ 大型テレビに無記名で全ての提出箱を表示し、少数派の意見から取り上げ、全体で話し合いを行う。</p> <p>○ 心の中で思っているだけでは挨拶のよさは広がらないことに気付かせるために、問い返しの発問をする。</p> <p>4</p> <p>○ 道夫に影響を受けて挨拶を始めたときと先生の話聞いてもう一度挨拶をしようと思ったときでは、意欲に差があるか問うことで、自分の弱さを乗り越えるためにはどのような考えが大切か考えさせる。また、挨拶をしなかったときとしたときを比較することで、挨拶をした方が自分や周りにとってよさがあることに気付かせるようにする。</p> <p>5</p> <p>○ 板書やノート・タブレットなどを振り返りながらまとめを考えさせる。その際、ロイロノートのシンキングツール（ピラミッドチャート）を活用してまとめさせる。</p> <p>【◇自分の考えをもつ 他者の考えを知る】</p> <p>※ 「挨拶のよさに気付いていてもできない人が少しでも進んで挨拶ができるようにするために、どのようにアドバイスすればよいか」という視点でペアやグループで考えさせる。</p>

終末	5 これまでの自分の生活を振り返り、これからの生き方について考える。 【脇本タイム】	6 ※ 多様な考えに触れさせるために、道徳ノートに書いたものを撮影し、ロイロノートで共有させる。 【◇自分の考えをもつ 他者の考えを知る】 ☆ 挨拶のよさについて考えを深めたり、継続することの難しさを乗り越えて進んで挨拶することの大切さに気付いたりすることができたか。【ノート・端末】
	6 教師の説話を聞く。	3 ○ 挨拶のもつ力について教師の体験談を話すことで、進んで挨拶をしようという意識を高めるようにする。

・ これまでは、はずかしくてあいさつができないときがあったけど、これからは、心の中で思うだけでなくしっかりと声に出していきたい。



(4) 評価

- 挨拶のよさが分かっているにも関わらず、それを継続することの難しさを知り、挨拶がもつ本来の意味について考えを深め、進んで心のこもった挨拶をしようとしたか。
- 友達の考えを参考にしながら自分の考えを明確にし、伝えることができたか。

5 板書計画

① 脇本タイム

② 先生の話

③ 振り返り

④ 進んで

⑤ 振り返り

6/23 (金) 第9回 「あいさつの心」

× 大切
.. 0 全

△ 3 23

↑

△を見た

よきとき
.. 2 23

挿絵 (あいさつ運動の様子)

- ・ あいさつ運動の様子
- ・ 道夫さんがかわいそう
- ・ 心だけでなく声に出して伝える

○ またする

- ・ 仲間外れにされる
- ・ 自分もうわささせる
- ・ はずかしい

残

消

挿絵 (道夫とあいさつ)

- ・ あいさつ運動の様子
- ・ 道夫さんがかわいそう
- ・ 心だけでなく声に出して伝える

○ またする

- ・ 仲間外れにされる
- ・ 自分もうわささせる
- ・ はずかしい

後 ← 前

P12 ①P 「あいさつ運動」

○ 仲のよい友達のみ ○ ほとんどしない

あいさつ

○ 少しずつするように

○ 気持ちがすうっとする

- ・ 気持ちがすうっとする
- ・ あまり親しくない友達と親しく
- ・ 教室が明るく

挿絵 (先生の話の様子)

- ・ 先生の話の様子
- ・ 先生の話の様子

挿絵 (道夫をさける)

- ・ 道夫をさける様子
- ・ 道夫をさける様子

挿絵 (道夫とあいさつ)

- ・ 道夫とあいさつ
- ・ 道夫とあいさつ

挿絵 (先生の話の様子)

- ・ 先生の話の様子
- ・ 先生の話の様子

挿絵 (道夫をさける)

- ・ 道夫をさける様子
- ・ 道夫をさける様子

挿絵 (道夫とあいさつ)

- ・ 道夫とあいさつ
- ・ 道夫とあいさつ